

病虫害の状況に合わせ効果的に箱施用剤を選択しよう

箱施用剤を上手に活用した病虫害防除のポイント

箱施用剤は、移植時の処理で長期の効果が期待できることに加えて、病害と虫害の同時防除が可能、省力的、空中への飛散がないなどの利点から、わが国の水稲栽培の重要な防除手段となっている。ここでは特にウンカ類などの海外飛来性害虫について二〇一九年の箱施用剤による病虫害防除のポイントを解説する。

農研機構 本部企画調整部 研究管理役 松村正哉

箱施用剤が極めて有効

ウンカ類

ウンカ類は毎年、梅雨期に海外から飛来して水田で増殖する。セジロウンカとトビイロウンカの飛来時期や飛来量は梅雨期の気象条件によって異なるため年次変動は大きいものの、西日本や九州では恒常的に飛来量が多い。ヒメトビウンカ

についても、従来は海外飛来しないとされてきたが、近年、中国大陸東部から九州などに飛来することが明らかになってきている。二〇一八年は全体的にウンカ類の飛来量は少なかったが、この理由として、飛来源におけるウンカ類の発生量が低下しているわけではなく、梅雨時期にウンカ

類が飛来するような気象条件（前線に沿って南から暖かく湿った空気が入り込むような条件）が少なかったことが大きな原因である。このため、二〇一九年もこれらのウンカ類の飛来には注意する必要がある。

梅雨期の気象が発生量を左右

注意が必要



トビイロウンカによる坪枯れ



イネ縞葉枯病の症状

ヒメトビウンカ 中国大陸東部から九州などへ飛来

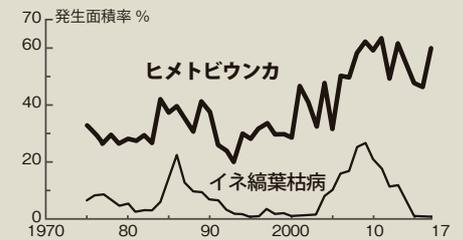
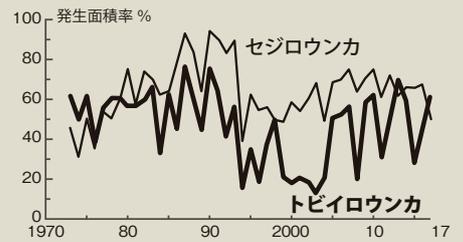
ヒメトビウンカはイネ縞葉枯病を、セジロウンカはイネ南方黒すじ萎縮病をそれぞれ伝搬してイネに被害をもたらす。イネ縞葉枯病については、近年、関東地域や中国地方の一部でウイルス保毒虫率が高くなっているため、箱

セジロウンカが多飛来に警戒を

ヒメトビウンカはイネ縞葉枯病を、セジロウンカはイネ南方黒すじ萎縮病をそれぞれ伝搬してイネに被害をもたらす。イネ縞葉枯病については、近年、関東地域や中国地方の一部でウイルス保毒虫率が高くなっているため、箱

新規殺虫分。ピラキサルト含む箱施用剤

病虫害が恒常的に発生、ウンカ類が毎年多飛来など



九州におけるトビイロウンカ・セジロウンカ（上）とヒメトビウンカ・イネ縞葉枯病（下）の発生面積率の年次変動（JPP-NETのデータから作図）



セジロウンカ（右）とトビイロウンカ（左）



株もとに群がるトビイロウンカの幼虫



セジロウンカが媒介するイネ南方黒すじ萎縮病の病徴（中央の株）

施用剤が有効である。イネ南方黒すじ萎縮病については、このところ発生は少ないものの、セジロウンカが多飛来した場合には注意が必要である。

ただし、これらのウンカ類は、現在、種ごとに一部の箱施用剤に対して感受性が低下していることが分かっている。トビイロウンカではA剤に対する

抵抗性が発達している。一方、セジロウンカではB剤に対する抵抗性が発達している。また、ヒメトビウンカについては、地域によって抵抗性の発達している薬剤が異なっており、関東以南ではB剤に対する抵抗性が発達している地域が多く、九州ではこれに加えてA剤に対する抵抗性もみられている。

このため、県の指導機関などの発生予察情報を参考に、防除対象の種に効果の高い薬剤を選ぶ必要がある。ウンカ類3種に高い効果を示す新規殺虫成分ピラキサルト（一般名・トリフルメズピリム）を含む箱施用剤が昨年秋季に農業登録され、本年の田植え時期に合わせて各社から殺菌剤との混合剤として市販される。ウンカ類が多発生する地域では、これらの新規箱施用剤が効果的である。

発生予察情報 参考に効果の高い薬剤選ぶ



育苗箱施用剤

自然に学び自然を守る



抵抗性 ウンカに 効き目抜群

新規有効成分配合
ピラキサルト™

FULL
THROTTLE

ZEXALON
PADEET

ENCORE

農林水産省登録第24132号

フルスロットル®

殺虫・殺菌剤

農林水産省登録第24134号

アンコール®

殺虫・殺菌剤

農林水産省登録第24133号

ゼクサロンパデット®

殺虫剤

ウンカ類

チョウ目

初期害虫

いもち病

紋枯病



ウンカ類

チョウ目

初期害虫

いもち病



ウンカ類

チョウ目

初期害虫



ウンカの生態と防除を詳しく解説!



ウンカにクミカ

検索

powered by PYRAXALT™

powered by

CYAZYPYR®

ACTIVE INGREDIENT

powered by

RYNAXYPYR®

ACTIVE INGREDIENT



™が付記された表示は、デュボン・ダウ・アグロサイエンスもしくはハイオニアならびにこれらの関連会社または各所有者の商標です。CYAZYPYR®、RYNAXYPYR®、パデット® は、FMC Corporation またはその米国およびその他の国の子会社・関連会社の登録商標です。フルスロットル®、アンコール® はクミカ化学工業(株)の登録商標